

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

事業名 県立社会福祉施設設備等整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 施設整備係 電話番号：058-272-1111 (内3494)

E-mail： c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 110,986 千円 (前年度予算額： 2,763 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支 出 金	分 担 金 負 担 金	使 用 料 手 数 料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,763	0	0	0	0	0	0	2,400	363
要求額	110,986	0	0	0	0	0	0	86,500	24,486
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

老朽化が進む県立障がい福祉施設及び県立障がい者スポーツ施設の営繕工事を順次行い、利用者に安全・安心な生活環境を提供する。

(2) 事業内容

県立社会福祉施設及び県立障がい者スポーツ施設の営繕工事 (実施設計及び改修工事) を実施し、施設利用者の安全性と利便性の向上を図る。

【長寿命化計画改修工事】

- みどり荘管理棟等便所及び配管改修工事 72,022千円
 - ・令和2年度から継続要求中
 - ・施設建築から42年を経過し老朽化が著しいため改修する。
 - ・UD (便所の洋式化) 化工事も同時に行う。(UD予算にて要求)
- はなの木苑自動火災報知設備等改修工事 11,081千円
 - ・R5当初新規工事
 - ・前回改修から23年を経過し、改修サイクルを迎えたため改修する。
- みどり荘自動火災報知設備等改修工事 3,974千円
 - ・R5当初新規工事
 - ・供用開始から42年を経過し、改修サイクルを迎えたため改修する。
- 三光園各所トイレ改修及び受水槽更新工事 5,946千円※R6は設計のみ
 - ・施設建築から42年を経過し老朽化が著しいため改修する。
 - ・UD (便所の洋式化) 化工事も同時に行う。

- はなの木苑LED照明改修工事 2,042千円※R6は設計のみ
 - ・R5年度から継続要求中
 - ・前回改修から23年が経過し、改修サイクルを迎えたため、LED化改修をする。
- みどり荘LED照明改修工事 1,666千円※R6は設計のみ
 - ・R5年度から継続要求中
 - ・前回改修から23年が経過し、改修サイクルを迎えたため、LED化改修をする。

【長寿命化計画外（劣化改修）工事】※管財課の庁舎営繕予算で対応不可のもの。

- はなの木苑自家用発電機設備更新工事 8,882千円
 - ・設置から20年以上経過し、劣化が著しいため改修する。
- 福祉友愛プール プールろ過装置劣化部品取替修繕 4,077千円
 - ・供用開始から7年が経過し、部品の劣化が著しいため取替を行う。
- 福祉友愛プール みらいスクールステーション更新工事 1,296千円
 - ・供用開始から7年が経過し、故障して修繕が不可能なため更新を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県補助率 10 / 10（予定施設は全て県立施設であるため、県負担は妥当）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	64	改修工事現場への出張旅費
使用料	29	出張に係る高速代
需用費	332	消耗品費204千円・燃料費128千円
役務費	157	郵送費・通信費
委託料	15,452	改修工事の設計委託料・工事監理委託料
工事請負費	94,952	改修工事の請負費
合計	110,986	

決定額の考え方

--

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

老朽化が進む県立障がい福祉施設の大規模な営繕工事を順次行い、利用者に安全・安心な生活環境を提供する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	終期目標	達成率
実施が必要な大規模営繕工事の年度実施件数	-	6	10	6		

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわりの丘第一・二学園空調・衛生設備改修工事 ・ひまわりの丘第三学園作業棟給排水設備改修工事 ・みどり荘下水道接続工事
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわりの丘第一・二学園防犯設備設置工事 ・ひまわりの丘第一・二学園照明設備改修工事 ・はなの木苑土砂等防護柵設置工事
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・陽光園屋上防水改修工事・ガスボイラー改修工事 ・三光園空調設備改修工事 ・ひまわりの丘第一学園・第二学園（機械等屋上外壁改修・空調設備改修） ・はなの木苑居室棟屋上防水改修

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	施設利用者の安心・安全な生活環境を確保するため、営繕工事の実施が必要となる。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	これまでの営繕工事により、施設利用者の安全・安心な生活環境の実現が図られた。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	営繕工事の実施検討にあたっては、庁内関係課と現地調査を行い、適切で効率的な実施方法を適用している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 県立障がい福祉施設は多くの施設で老朽化が進んでおり、今後も新たな営繕工事が必要となる。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 必要な営繕工事について、計画的な実施を図る。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	